ネットワーク構築の試み

ICT を活用した日本人学校の特別支援教育協議会の実施

1. 趣旨

日本人学校へのアンケート調査および訪問調査から、日本人学校では、障害に関する情報、日本における特別支援教育についての取り組み、他の日本人学校における対応についての情報を総合的に得ることが難しいということが明らかになった。そこで、ICT を活用して、研究所からの情報提供を行うと同時に、日本人学校のネットワーク構築を目指して相互情報交換のための協議会を開催した。

2. 実施内容

実施日時と内容は、下記の通りである。なお、通信ソフトウェアとして、Skype（スカイプ）を利用し、当研究所の情報管理系の協力を得て実施した。

日時	2006年12月19日（火）日本時間16時～17時30分	
内容	16:00	開始・確認
	16:10	ミニレクチャー「特別支援教育の在り方」（相談部長：後上鐵夫）
	16:30	「特別支援教育」に関する質疑応答
	16:45	各日本人学校の特別支援教育に関する現状報告（参加校）
	17:30	終了

3. 協議会への参加

今回の協議会の参加募集にあたっては、時差を考え、「東アジア・大洋州地区日本人学校」の中でも東南アジア地域にある日本人学校に限定し、さらに Skype（スカイプ）の利用が可能な学校に参加を募った。

特別支援教育協議会に参加した学校は、右表の通りである。

協議会参加学校名
北京日本人学校
ソウル日本人学校
香港日本人学校小学部大埔校
上海日本人学校浦東校
香港日本人学校小学部香港校
広州日本人学校
ニューデリー日本人学校

4. 協議会の評価

協議会を実施したところ、7校と同時に回線が繋がらなかったり、音声がとぎれとぎれになってしまったりした。スカイプの特徴を十分に把握せずに協議会を行ったこと、協議

会に参加した学校のインターネットへの接続状況の把握が不十分だったこと等が原因と考えられた。そこで、アンケートを参加した学校に送付し、協議会の際の音声の聞こえ具合、協議会に使用したパソコンの状況等について調査した（資料参照）。

ICT を活用した日本人学校の特別支援教育協議会後のアンケート結果

7校の日本人学校が協議会への参加を希望していたが、1校は接続ができずに終了したため、6校からの回答結果を以下に示す。

接続開始時間について

接続	最初から出来た学校	5校
	途中でとぎれた学校	1校

ミニレクチャーの音声について

ミニレクチャーの音声	明瞭	3校
	何とか聞き取れた	1校
	ノイズが多かった	0校
	とぎれとぎれ	1校
	その他	1校

ミニレクチャーの聴衆について

ミニレクチャーの聴衆	1人	2校
	2～5人位	1校
	5～6人以上	2校
	その他	1校

各校の状況説明の音声について

各校の状況説明の音声	明瞭	1校
	何とか聞き取れた	1校
	ノイズが多かった	0校
	学校によって差があった	3校
	とぎれとぎれ	1校
	その他	0校

使用しているネットワーク・パソコンの環境・状況について

Webカメラの所有	ある	2校
	ない	4校

PCのOS	Windows98	0校
	Windows2000	0校
	WindowsXP	6校
	Mac	0校
	Linux	0校
	その他	0校

ネット回線の種類	ダイヤルアップ	
	ISDN	
	ADSL	5校
	光ケーブル	
	専用線	1校
	その他	

今回の実施に関する意見・感想

- ・行事が続いていましたので慌てて準備をしましたが、今後、有意義な交流ができること

が期待できました。

- ・ 講義ありがとうございました。職員の研修の場としても有意義です。海外にいますとどうしても新しい情報が不足しがちですので、ありがたく思います。
- ・ 国内の特別支援教育についての動向や帰国した児童・生徒の進路などについて、具体的な事例などを挙げていただけると助かります。
- ・ 他の実践を知ることや情報交換により、質の向上が期待できるので、大変すばらしい試みと思う。
- ・ 海外にいながら後上先生の貴重な講演をお聞きすることができうれしく思いました。
- ・ 他国の日本人学校との特別支援教育に関する情報交換はとても参考になり、また刺激ともなりました。今後もこのような交流ができればと思っています。
- ・ 同じ時間帯に全員参加というのは、難しいと思った。例えば、長期休業などに参加を希望する学校が集まってできないだろうか。ホストは、事前に会議の日時と情報交換や議論等の内容を知らせておく程度にすればよいのではないかと思った。
- ・ このような機会を作って頂き、ありがとうございました。他の学校の状況なども、もっと詳しく聞き、意見の交換等をしていける第1歩になりました。保護者、教員含め、相談できる機関もなく、また、普通学校の先生方ばかりの中で、貴重な機会でした。今回たまたま保護者面談とぶつかり、私は最初から最後まで参加できたが、時間的に同じような時間帯であると、参加できるかどうか不安です。今後できるかぎり、このような機会があれば、参加したい。

希望事項・内容

- ・ 各校の実態はさまざまだと思いますが、在外という性質上参考になるところはあると思います。ほかの学校との情報交換をさせていただけるとありがたいです。
- ・ 受け入れの基準や定員など。
- ・ 映像を使った情報交換会。
- ・ 障害ではないが、日本語の能力の関係で、普通学級の学習に困難な状態の児童・生徒の有無（人数）とそのような子どもたちには、いつ、どこで、どのような、配慮や特別な支援が行われているのか。それぞれの日本人学校の実態や状況が知りたい。
- ・ 保護者との対応について情報交換したい。どのようなプロセスを経て、特別支援学級在籍まで持って行っているのか。
- ・ 時間帯をもう少し送らせて頂けると、参加しやすいです。
- ・ 学校全体としての障害児に対する取り組みなど。

5. まとめ

ミニレクチャーと各校の状況のやりとりのいずれもが、明瞭に聞き取れた学校は1校のみで、他の学校はノイズが多かったり、とぎれとぎれで聞こえるという状況であった。こ

の結果は、当研究所のネット環境とスカイプの性能という点から検討する必要があると考えられた。

聞き取りにくい状況であっても参加された各学校は、協議会に最後まで参加しており、特別支援教育に関する情報や各校の状況等の情報交換を強く求めていることが分かった。

今後の課題としては、各校のインターネットの接続状況の確認、スカイプの設定の確認等を実施した上で協議会を開催すること、協議会の内容としては特別支援教育に関するより詳細な情報の提供と各校との情報交換の場を設けること等が挙げられる。さらに、この協議会をアジア地域だけでなく、より広い地域に広げていくには、どのような方策をとっていくことができるのかを検討していくことも今後の課題である。

6．参加者について

他校の参加者にスカイプ名・アドレスを知らせて 構わない 知らせたくない

7．次回、このような協議会を実施する場合の参加の有無

参加する 時間が合えば参加する 参加しない

8．今回の実施に関する意見・感想

9．次回の実施にあたり希望事項や内容があれば、お書きください

(例えば他の日本人学校との情報交換したい内容等)

回答者所属校・氏名；

ご協力、ありがとうございました。

教育相談部